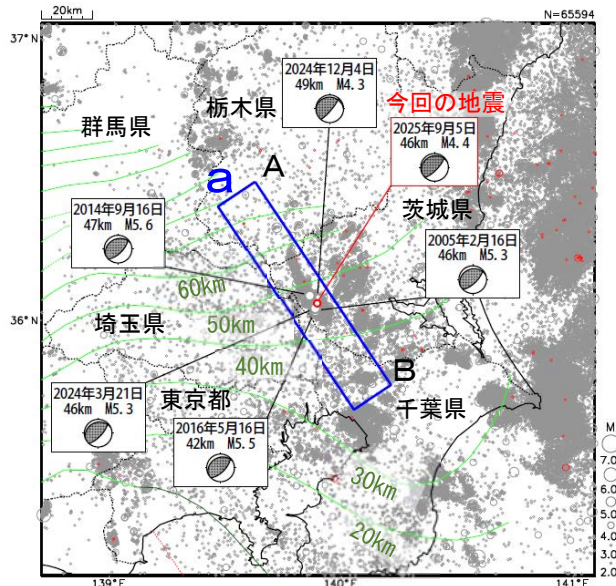


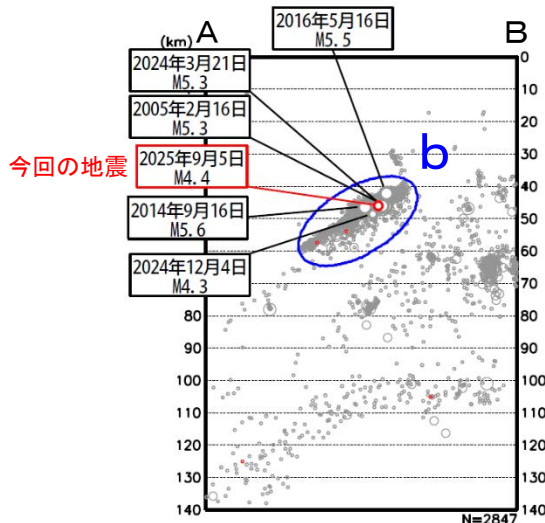
9月5日 茨城県南部の地震

震央分布図
(1997年10月1日～2025年9月30日、
深さ0～140km、 $M \geq 2.0$)
2025年9月の地震を赤色で表示

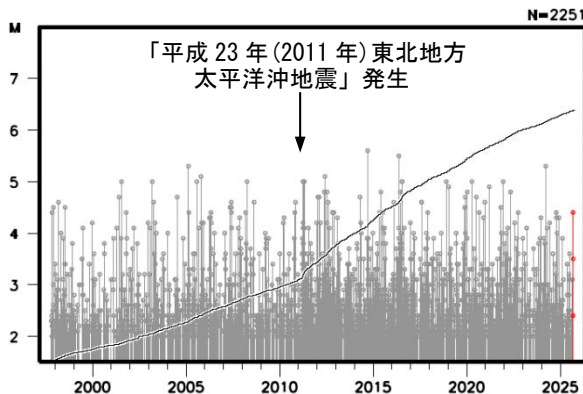


震央分布図中の緑色の破線は、弘瀬・他（2008）によるフィリピン海プレート上面のおおよその深さを示す。

領域a内の断面図（A-B投影）



領域b内のM-T図及び回数積算図

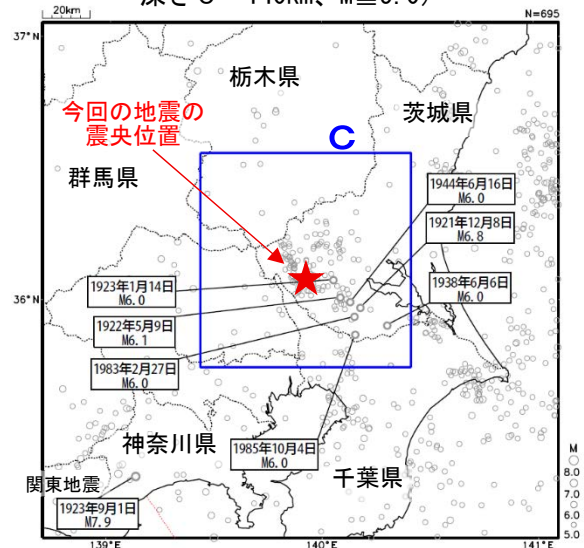


2025年9月5日21時00分に茨城県南部の深さ46kmでM4.4の地震（最大震度4）が発生した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動を見ると、今回の地震の震源付近（領域b）では、M5.0以上の地震が時々発生している。2014年9月16日にM5.6の地震（最大震度5弱）が発生し、負傷者10人、住家一部破損1,060棟などの被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では、M6.0以上の地震が時々発生している。最大規模の地震は、1921年12月8日に発生したM6.8の地震である。

震央分布図
(1919年1月1日～2025年9月30日、
深さ0～140km、 $M \geq 5.0$)



領域c内のM-T図

